

知立神社

Chiryu Shrine

池鯉鮒大明神と呼ばれ、江戸時代 東海道三社の一つに数えられた 名社です。境内に建てられている 「多宝塔」は、国の重要文化財であ り、舞楽面、能面等多くの県指定、 市指定文化財があります。



されており、歴史や文化が息づいています。 歴史のある場所です。現在もその面影が残

きました。中世の街道筋をはじめ、江戸時代 知立は、古くから交通の要衝として栄えて には東海道沿いに池鯉鮒宿がおかれるなど



名鉄三河線

馬市の跡

かきつばた園

在原業平の 立像

各群者古墨太縣



旧東海道





馬市の跡

Umaichinoato

主に江戸時代、4~5月の一時期に池鯉鮒宿の 東の野で馬市が開かれていました。4~5百頭 の馬がつながれ、馬の値を決める所を「談合 松」と言いました。



在原業平の立像

Ariwarano-narihira statue

平安の歌人である在原業平が東下りの途中、 八橋にさしかかり、かきつばたが一面に咲き 乱れているのを見て詠んだとされる歌は広く 文人や歌人に親しまれています。



根上りの松

源頼朝が鎌倉に幕府を開いた際に作られたの が鎌倉街道です。その街道のかたわらに立つ この松は、根が2m持ち上がっていることか らその名がつきました。



Henjouin

およそ1200年前、弘法大師によって、生きと し生ける者すべての悲しみ、悩み、苦しみがと もに語られ解決されるようにとの願いを込め て建てられたお寺です。



赤目樫元弘法

遍照院は元々上重原家下の地にあったといわ れており、延宝年中(1673~81)の間に現在 の地に移ったと伝えられ、跡地は赤目樫元弘



多宝塔

Tahoutou

知立神社の鳥居をくぐるとすぐ右に、三間二 層、杮葺の一基の多宝塔が、西を向いてそびえ 立っています。永正6年 (1509) に再建され たものとされ、神社最古の建物です。



来迎寺一里塚

Raikougi-ichirizuka

一里塚は、江戸時代に街道 の一里 (約4km) ごとに道 標として築かれたもので、 約9m四方、高さ約4mに 土を盛り上げ、道の両側に 築かれています。塚上には 主に榎が植えられています が、当地の塚には松が植え られ、特に北塚が原形をよ くとどめています。



Akamegashi-motokoubou

法として残されています。





名錄三河線

赤目樫 元弘法 知立神社 多宝塔



河知立駅

遍照院

萬福寺のイブキ

Manpukuji Ibuki

県指定天然記念物。樹高16m、胸高囲3.12 m、根廻り4mの大きなものです。主幹は縦列 し、ねじりながら上方へ伸びています。



萬福寺

Manpukuji

萬福寺の本堂・山門・鐘楼は、2015年11月 17日に国の登録有形文化財に登録されまし た。本堂は1899年に完成し、規模の雄大さや 意匠の華やかさが特徴です。

